

学校懇談会要項

時 間	学校懇談会（食堂）	学年懇談会（各教室等）
14:25～15:10	4～6年生 保護者対象	1～3年生 保護者対象
15:10～15:55	1～3年生 保護者対象	4～6年生 保護者対象
15:55～16:10	メール配信システムへ登録講習会 ※未登録の方は、この機会に是非ご登録下さい。その場で登録作業を行います。	

×毛

魚沼市立井口小学校いじめ防止基本方針

1 はじめに

当校のいじめ防止基本方針（以下基本方針）は、いじめ防止対策推進法（以下推進法）第 13 条に則り、当校におけるいじめ防止等の対策を効果的に推進するために策定する。

2 いじめの未然防止にかかる取組（実効ある教育活動の実践）

- (1) 温かい学級づくり支援事業の実践（校内研修計画）
- (2) 教科指導の充実（教育計画、年間指導計画、校内研修計画）
- (3) 学級経営の充実（学年学級経営案）
- (4) 道德教育の充実（道德教育全体計画）
- (5) 人権、同和教育の充実（人権、同和教育全体計画）
- (6) 生活指導の充実（生活指導全体計画、いのちっ子の年間生活プラン）
- (7) 特別活動の充実（特別活動全体計画）

3 いじめの早期発見にかかる取組（情報収集と実態把握）

- (1) Q－U調査の活用（学期に 1 回）
- (2) 教育相談の充実（学期に 1 回…Q－U調査後、他にも個別に適時相談）
- (3) 学校生活アンケート（いじめ調査含む）の実施（学期に 1 回）
- (4) 児童の日常生活の見取り（学級担任をはじめとした全ての職員）と情報共有（毎週木曜放課後）
- (5) 児童及び保護者等からの情報の確実な受け止め

4 いじめの即時対応にかかる取組（適切な対処と措置）

- (1) 組織的な事実確認と状況調査
- (2) いじめられている児童の保護、その保護者への対応
- (3) いじめている児童への指導、その保護者への対応
- (4) その他の児童への対応
- (5) 市教委への報告

<留意点>

- ① いじめられている児童とその保護者の心情、訴えを十分に受け止める。
- ② ①を重視しつつも、いじめている児童及びその保護者への配慮ある対応に努める。
- ③ 該当事案が犯罪の疑いがある場合は、警察へ速やかな相談を行う。犯罪の域に入るときは、即、警察へ通報する。

5 重大事態への対応

- ◇ 学校又は学校設置者（教育委員会）に「調査委員会」を設置する重大事態とは、
- (1) 「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑い」（児童が自殺を企図した場合等）
 - (2) 「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑い」（年間 30 日を目安。一定期間連続して欠席しているような場合などは、迅速に調査に着手）
- ※ 「児童や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったとき」
- 市教委にいじめ事案を報告し、上記ケースに当てはまると認定された場合は、公正中立な調査組織を事案の程度によって学校又は市教委に設置し、該当のいじめに関する調査を行う。

6 いじめ防止等の対策のための組織の設置（当校では「問題行動等対策委員会」）

(1) 目的

推進法第 22 条に則り、当校児童間におけるいじめ事案を素早く把握し、解消に努めるために設置する。そのために、全教育活動で未然防止を意識し、機能するように努める。

(2) 委員構成

校長、教頭、教務主任、◎生活指導主任、保健主事、担任、関係学年主任、養護教諭（いじめ事案の程度に応じて、学年部職員、市教委担当指導主事、その他必要と思われる者）

(3) 取組内容

- ① 3 の確実な実施等による児童間のいじめの把握
- ② ①の情報把握者から管理職及び担当への速やかな報告
- ③ 対策委員会で対応検討及び具体策の実施
→ 軽度と判断する内容以外は市教委へ報告
- ④ 解消の確認
- ⑤ 再発防止に向けた見守りや点検を継続
- ⑥ ⑤が一定期間経過した時点で、今件の解決

(4) 保護者、地域との連携

保護者及び地域への啓発活動は、「いじめの見逃しを減少させること」、「いじめ防止の気運を高めること」という 2 点のために重要であるため、次のような取組を行う。

- ① 保護者への基本方針の丁寧な説明及び概要プリントの配付。
- ② いじめ防止関連行事の学校便りへの掲載と、地域への配付及び概要プリントの配付。

(5) 関係機関等との連携

- ① ゆのたにつ子支援クラブ（湯之谷中学校区いじめ・不登校対策協議会）における情報共有。
- ② 市教委、子育て支援センター、児童相談所、民生児童委員、警察等との情報共有。

7 その他

- (1) いじめ根絶県民会議の「いじめ見逃しゼロスクール」の趣旨に則った学校行事等の充実を図る。
- (2) 校内研修等において、学校いじめ対策基本方針の職員間の共通理解を図るとともに、いじめに対する意識の啓発と、いじめ防止の取組に対する資質の向上を図る。
- (3) インターネットを介したいじめは、喫緊の課題であるため、情報モラル教育を実施するとともに、特に微細な情報でも即時対応する。
- (4) 基本方針は今後随時見直し、改善し、よりよいものにしていく。

☆ 学校における児童の集団内では、互いの力関係から、ある児童がいじめられたと感じる状態は必ず起きる。それに対し、確実な事実確認が必要である。同時に、児童の被害意識に焦点を当てた対応が重要である。児童や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったときは、その時点で学校が「いじめの結果ではない」あるいは「重大事態とはいえない」と考えたとしても、重大事態が発生したものとして報告・調査に当たる。

平成 26 年 5 月 28 日 策定

いじめ防止対策推進法（抜粋）

（目的）

第一条 この法律は、いじめが、いじめを受けた児童等の教育を受ける権利を著しく侵害し、その心身の健全な成長及び人格の形成に重大な影響を与えるのみならず、その生命又は身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるものであることに鑑み、児童等の尊厳を保持するため、いじめの防止等（いじめの防止、いじめの早期発見及びいじめへの対処をいう。以下同じ。）のための対策に関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体等の責務を明らかにし、並びにいじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について定めるとともに、いじめの防止等のための対策の基本となる事項を定めることにより、いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

（基本理念）

第三条 いじめの防止等のための対策は、いじめが全ての児童等に関係する問題であることに鑑み、児童等が安心して学習その他の活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わずいじめが行われなくなるようにすることを旨として行われなければならない。

2 いじめの防止等のための対策は、全ての児童等がいじめを行わず、及び他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないようにするため、いじめが児童等の心身に及ぼす影響その他のいじめの問題に関する児童等の理解を深めることを旨として行われなければならない。

3 いじめの防止等のための対策は、いじめを受けた児童等の生命及び心身を保護することが特に重要であることを認識しつつ、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

（いじめの禁止）

第四条 児童等は、いじめを行ってはならない。

○「生きる力」（いかに社会が変化しようとする必要能力であり、主として初等中等教育段階において身に付けるべきものとして中央教育審議会で提言）

- ・基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようとする、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- ・たくましく生きるための健康や体力など

いじめ防止対策推進法（概要）

一 総則

- 1 「いじめ」を「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校（※）に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」と定義すること。

※小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校（幼稚部を除く。）

- 2 いじめの防止等のための対策の基本理念、いじめの禁止、関係者の責務等を定めること。

三 いじめの防止基本方針等

- 1 国、地方公共団体及び学校の各主体による「いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針」の策定（※）について定めること。

※国及び学校は策定の義務、地方公共団体は策定の努力義務

- 2 地方公共団体は、関係機関等の連携を図るため、学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を置くことができること。

三 基本的施策・いじめの防止等に関する措置

- 1 学校の設置者及び学校が講ずべき基本的施策として①道徳教育等の充実、②早期発見のための措置、③相談体制の整備、④インターネットを通じて行われるいじめに対する対策の推進を定めるとともに、国及び地方公共団体が講ずべき基本的施策として⑤いじめの防止等の対策に従事する人材の確保等、⑥調査研究の推進、⑦啓発活動について定めること。
- 2 学校は、いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、複数の教職員、心理、福祉等の専門家その他の関係者により構成される組織を置くこと。
- 3 個別のいじめに対して学校が講ずべき措置として①いじめの事実確認、②いじめを受けた児童生徒又はその保護者に対する支援、③いじめを行った児童生徒に対する指導又はその保護者に対する助言について定めるとともに、いじめが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときの所轄警察署との連携について定めること。
- 4 懲戒、出席停止制度の適切な運用等その他いじめの防止等に関する措置を定めること。

四 重大事態への対処

- 1 学校の設置者又はその設置する学校は、重大事態に対処し、及び同種の事態の発生の防止に資するため、速やかに、適切な方法により事実関係を明確にするための調査を行うものとする。
- 2 学校の設置者又はその設置する学校は、1の調査を行ったときは、当該調査に係るいじめを受けた児童生徒及びその保護者に対し、必要な情報を適切に提供するものとする。
- 3 地方公共団体の長等（※）に対する重大事態が発生した旨の報告、地方公共団体の長等による1の調査の再調査、再調査の結果を踏まえて措置を講ずること等について定めること。

※公立学校は地方公共団体の長、国立学校は文部科学大臣、私立学校は所轄庁である都道府県知事

五 雑則

学校評価における留意事項及び高等専門学校における措置に関する規定を設けること。

楽しく安全な夏休みを送るために

次の内容について学校で指導しています。ご家庭でも、十分ご指導をお願いします。

夏休みの約束と校外生活の約束について 『井口っ子の生活』より抜粋

【外で遊ぶ時の注意】

- ①「どこへ」「だれと」「いつ帰るか」を家の人に知らせて外出しましょう。
※学校として、夏休み中は習い事や特別な用事がない場合、午後6時までに帰宅することが望ましいと考えています。
- ②自転車に乗るときは、交通ルールを守りましょう。
☆道路交通法ではヘルメット着用を義務付けています。(努力義務)
- ③キックボードやスケートボード等は公道(歩道も)では乗りません。
※小出警察の方からも各家庭に注意を促すよう指導がありました。
- ④ゲームセンターには、子どもだけで行かないようにしましょう。
- ⑤知らない人の車やさそいには、ぜったいにのらないようにしましょう。

合言葉は「きょうはいかのおすし」

きょ・・・知らない人や危険な場所から
きょりをとる
う・・・うしろに気をつける
は・・・はやめに家へ帰る

いか・・・知らない人についていかない
の・・・知らない人の車にのらない
お・・・おおきな声で助けを呼ぶ
す・・・すぐ逃げる(近所の家、子ども110番の家へ)
し・・・家の人や警察に知らせる

- ⑥魚沼市外には家の人と一緒にいきましょう。
- ⑦川で泳いだり、魚とりをしたりするときは、家の人といっしょに行きましょう。
- ⑧花火は、大人といっしょにしましょう。
- ⑨北部プールには、1～4年生は家の人といっしょに、5～6年生は3人以上で行きましょう。

【家での過ごし方】

- ①規則正しい生活をしましょう。
- ②進んでお手伝いをしましょう。



長い夏休みを有意義に過ごすために

- (1) 毎日欠かさず生活表を記入し、規則正しく過ごせるように話しましょう。
- (2) 「早寝早起き朝ごはん」を薦め、睡眠時間が確保できるよう、また毎日きまった時間に学習できるよう、生活時間について話し合いましょう。

健全に過ごすために

- (1) 金銭の貸し借りや物のおごり合いはしないよう指導しましょう。
- (2) 用もないのに店に出入りしたり、買った物を立ち食いしたりしないように注意しましょう。
- (3) 「万引きは犯罪」であることを意識付けましょう。
- (4) 子どもだけで夜に出歩く、友人宅に宿泊することがないようにしましょう。
- (5) インターネットやゲームの使い方、メディアの使用時間などについて家庭で話し合い、ルールを決めて節度ある生活をしましょう。
- (6) 危険な遊びや火遊びはしないこと、エアガンを人に向けないことなどを確かめ合いましょう。

健康に過ごすために

- (1) 毎日3回の歯磨きや、外から戻ったときの手洗い・うがいをするよう声をかけましょう。
- (2) 休みに、疾病の治療を済ませるようにしましょう。



もしものときにそなえて

- (1) 不審電話(友達の住所や電話番号を聞く)には絶対応じないように対応の仕方を具体的に教えましょう。
- (2) 地震が起こったときには、建物から離れる、車には近づかない、安全な場所で待つことなどを教えましょう。

子どもたちがよりよい生活が送れるよう学校でも指導しておりますが、それぞれのご家庭で「井口っ子の生活」を参考にしながら、主体性をもって指導やしつけにあたってくださいようお願いいたします。

また、子ども同士の関わり合う様子を十分見守り、ご指導をお願いいたします。



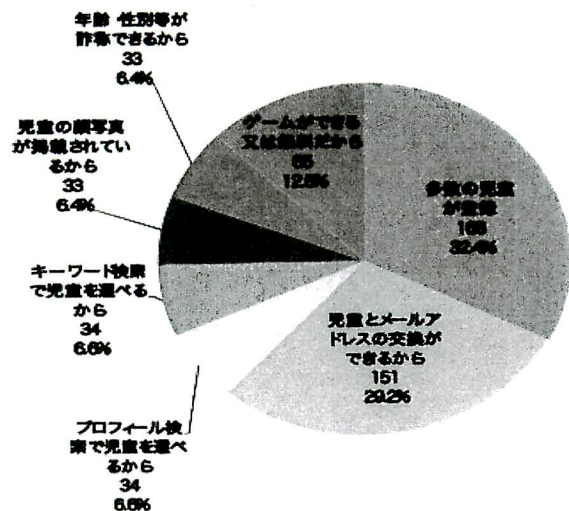
自分の命は自分で守る

【事故やお気づきの点は学校へ連絡を 井口小学校 TEL 792-0594】

ネットトラブル防止 保護者資料

インターネットの使用について親子で話し合い、お子さんをネットトラブルから守ろう！

犯罪者心理：サイトを選んだ理由



警察庁(2010)「非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析」

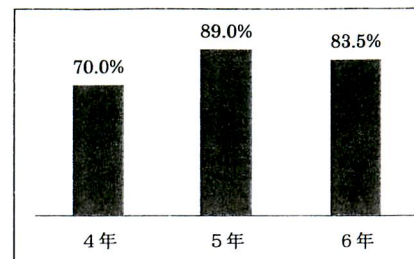
ネットモラル授業予定

- ・ 4年生対象・・・7月15日(火) 6限(14:50~15:50)
- ・ 5年生対象・・・7月18日(金) 5限(13:20~14:20)
- ・ 6年生対象・・・7月14日(月) 5限(14:40~15:40)

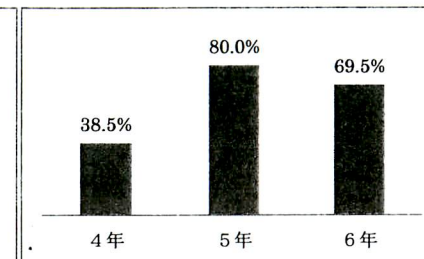
※保護者の方もぜひご参加ください。

井口小学校の児童の実態(4~6年生) 平成26年6月28日 アンケート調査実施

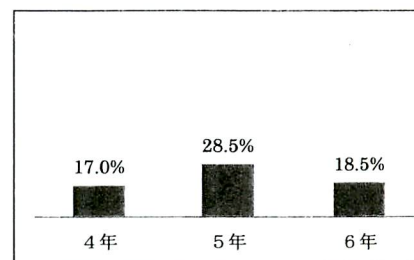
1 インターネット接続率



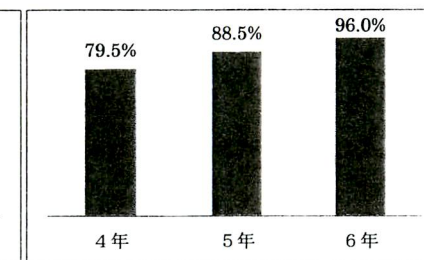
2 インターネットを利用する際の約束の有り



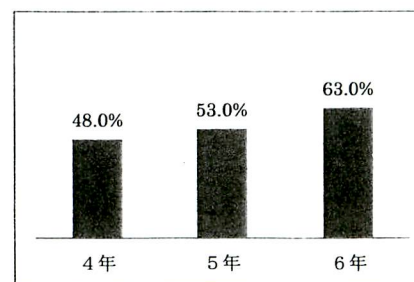
3 フィルタリングソフトの有り



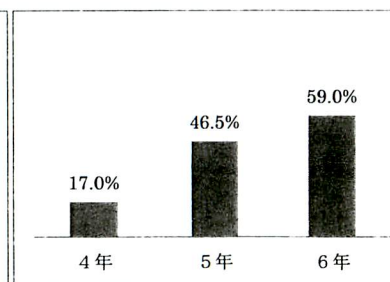
4 携帯端末 (DS, PSP, iPod 等) の所持率



5 携帯端末 (DS, PSP, iPod 等) による、メール、チャット経験有り



6 知らない人との交流経験有り



家庭での「情報モラル指導チェックシート」

次のチェックシートで当てはまるものに○印を入れてください。いくつ○印が入るでしょうか。

	チェック内容	○印
1	社会で情報モラルに関わるどのような事件や課題があるのか新聞やテレビ、インターネットで調べている	
2	家庭で子どもと話し合って、コンピュータを使う際のルールを作り、守らせている	
3	コンピュータは子どもだけで使う場所には置かず、家族の目が届く居間などに置いている	
4	子どもに携帯電話を与える前に、本当に必要かどうかをよく検討し、子どもに使わせる場合はフィルタリングサービスなどを契約するだけでなく、ルールやマナーの指導も行うようにしている	
5	ブラウザやフィルタリングソフトのページ閲覧履歴を定期的に見て、子どもがどのようなページを見ているか確認している	
6	子どもにクレジットカードの番号を教えたり、勝手にネットショッピングをさせたりしない	
7	子どものネット利用の時間や料金を調べ、使いすぎの状態ではないか注意している	
8	子どもの様子から気になることがあれば学級担任やカウンセラーと連絡を取り合うようにしている	
9	困った場合の連絡先として警察の生活安全課や消費者相談窓口などを知っている	
10	家族での会話を大切に、学校や家での出来事について何でも話せて相談できる雰囲気を作っている	

○印の数	アドバイス
1～2個	保護者として、インターネット上のどのような情報に子どもたちが接しているか、注意深く見守ることが必要です。
3～5個	保護者としてやるべきことをしておられます。しかし、今の状況に対応するにはまだ不十分です。インターネット上の危険から子どもを守る方法を解説したWebページやガイドブックなどをよく読んで、ご家庭でできることから始めてください。
6～8個	情報に対するきちんとした考えをお持ちで、保護者として立派です。ただ、まだやらなければならないこともありますので、さらに今の取り組みを進めてください。
9～10個	すばらしいです。あなたの取り組みを他の保護者の方にも広げてください。また、子どもたちの様子から新しい問題が見つかったら、先生と協力して課題解決にあたってください。

保護者の方へ

インターネット、携帯電話の普及により、子ども達がトラブルに巻き込まれる事例が増加し、その対策が緊急の課題になっています。将来社会に出て行く子ども達にとって、インターネットなどの活用能力は必須ですので、情報機器の利用は避けては通れません。学校では、日常的に情報モラルの指導を行っています。また、学校で学習に使っているコンピュータは、フィルタリングソフトやウィルス対策ソフトを導入し、安全性に配慮しています。

ご家庭でも、インターネットや携帯電話を利用する際に、守るべきルール、マナー、危険から身を守るための注意事項をお子さんとともに確認し、安全で正しい活用を指導してください。

すべての先生のための「情報モラル」指導実践キックオフガイド

http://kavoo.info/moral-guidebook-2007/kickoff/pdf/moralguide_all.pdf

消費者啓発参考情報「くらしの110番」トラブル情報

携帯型ゲーム機で出会い系サイト！～そんなことできるの？～

【事例】携帯型ゲーム機でインターネットを見ていて、出会い系サイトを見つけ、登録してしまった。完全無料で登録すれば友達を紹介してくれると表示されていた。登録すると、「ポイントを買え。お金を払え。IPアドレスを取得したから家に行くぞ。法的措置を取る」と脅された。怖くなり、母親のクレジットカードのカード番号を入力した。「これで終わる」と思ったのに、次から次へと「お金を払え。家に行く。訴える」とメールが来てしまった。どうしたらよいか。（中学生 男子）

事例の中学生の携帯電話はフィルタリングが設定されており、家のパソコンもフィルタリングソフトが導入されていました。中学生の親は、これで「悪質サイト対策は万全」と安心していただけ、意外な盲点がありました。

中学生の話では、「親には言えないことや学校の友達にも恥ずかしくて聞けないことが、いっぱいあった。だから悩み事を相談し合える友達が欲しかった。ある時、携帯型ゲーム機でインターネットが使えることを知った。家では、無線LANが使える環境であり、試しに携帯型ゲーム機を使ってみたら、インターネットにつながった」ということです。

現在、通信技術の発達により、パソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォン、タブレット型端末機、携帯型ゲーム機までインターネットが使えるようになっています。こうした技術の進歩に対して保護者である親はついていけなくなっている現状がありますが、子どもたちは、こうした新しい機器をすぐに使いこなす力を持っています。

【消費者へのアドバイス】

- ①インターネットに接続できるのは、パソコンや携帯電話ではありません。通信技術の発達により、思いもよらなかった家電製品からも接続できるようになりました。子どもに家電製品を買い与える時は、取扱説明書をよく読んでから渡しましょう。
- ②取扱説明書を読んでもよくわからない時は、メーカーのお客さま相談室に相談しましょう。
- ③フィルタリングソフトは万能ではありません。過信は禁物です。日ごろから子どもがどんなサイトを見ているかよく観察しましょう。
- ④クレジットカードの保管には、細心の注意を払いましょう。万が一、子どもが親のクレジットカードを使ってしまったら、親のカード管理責任が問われることがあります。
- ⑤事例のようなケースでは、未成年者の契約として取り消すことができる場合があります。最寄りの消費生活センターに相談しましょう。（2011年9月）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/qanda/qanda-110925.html>

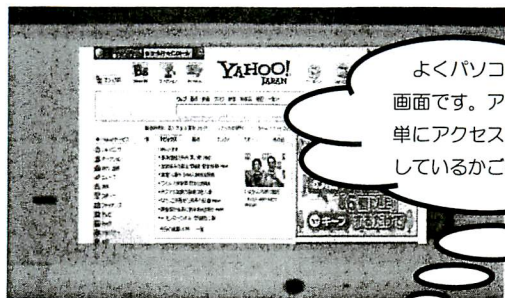
埼玉県より

知っていますか??ゲーム機利用の実態!



?? <43.4%> この数字は一体なんなのでしょう??

青森県の子どものネット接続可能ゲーム機所持率は93.0%にのぼります。43.4%という数字はゲーム機所持者の中でネット接続経験のある子ども達の割合を示しています。今やゲーム機は子ども達には欠かせない存在! 勉強ができるソフトがあったり、ペットを飼うソフトがあったり…とても楽しく便利なものですが…今店頭に並んでいるゲーム機のほとんどは、実は「インターネット接続が可能」なのです! しかし、購入後のゲーム機は、そのままではネットの有害情報に対し何のブロック(防御)システムもないため子どもが被害をうけやすく、すでに被害を被っています。



よくパソコンで見る画面…これはDSゲーム機の画面です。アダルトサイト、薬物サイトなどにも簡単にアクセスできます。子ども達がゲーム機で何をしているかご存じですか?

ゲーム機でこんなことが…

- ①プロフやゲームサイトで知り合った人と会って恐い思いをした。
- ②悪口や嫌がらせのメールが届いた。
- ③サイトにアクセスしてお金を請求された。
- ④(報道より)2011年2月11日「午後21時に新宿駅ハイウェイバスの乗り場付近で通り魔を起こす」などという書き込みをゲーム機からした当時中学3年生の男子生徒が逮捕された。



??どんなゲーム機がインターネットにつながるの??

携帯型ゲーム機

- ・PSP(プレイステーション・ポータブル)
- ・PSP go
- ・ニンテンドーDSi DSiLL 3DS
- ・ニンテンドーDS DSLite

据置型ゲーム機

- ・Wii(ウィー)
- ・PS3(PlayStation3)
- ・Xbox360



PSP (sony)



DSi(任天堂)

これから発売されるゲーム機もほとんどがネット接続可能機種です!

ゲーム機利用の実態は弘大ネットパトロール隊が2011年1月に青森県の小学4年生~中学2年生とその保護者を対象に行った「小・中学生のゲーム機によるネット利用の実態調査」からみてきたものです。青森県では小・中学生のケータイ所持率が全国に比べて低いので、その分ゲーム機からのネット被害が多くなると予想されます。

弘前大学教育学部 「ネット・ケータイ問題」研究プロジェクト

同上 ネットパトロール隊(調査部)

2011年7月



??子ども達を危険から守る方法はあるの??

ペアレンタルコントロール機能(ペアレンタルロック)と

ゲーム機用フィルタリングの2種類が有効です!

ペアレンタルコントロール機能

「保護者が子どものメディア利用(PC、ケータイ、ゲーム等)をきちんと管理していこう!」というのがペアレンタルコントロールの考え方です。ゲーム機に備えられているペアレンタルコントロール機能はその考え方に基いて子どもに悪影響を及ぼす可能性のあるゲームなどの使用や購入、ネットの利用を制限する機能をさします。設定した後、暗証番号を入力する必要があり、制限したサイトを子どもが開こうとした時は暗証番号を入力しなければそのサイトを開くことができません。ですので、この暗証番号は保護者がしっかり管理する必要があります。設定機能はゲーム機内にあり無料です。

フィルタリング

インターネットを利用する際、有害サイトへのアクセスをブロックする機能です。インターネット上にはアダルトサイトなどの有害サイトも多く、それらに繋がらないようにすることができます。また子どもの年齢にあわせて閲覧できるサイトを変更することもできます。携帯電話のフィルタリングはよく知られていますが、ゲーム機にもあるのです!!ただし1社しか提供していません。

- (例)ソニーPSPの視聴年齢制限(ペアレンタルロック)の設定の流れ
- 1:設定画面を選択
 - 2:セキュリティ設定を選択
 - 3:視聴年齢制限レベル、インターネット起動制限をそれぞれ選択
 - 4:暗証番号を設定する

- (例)ニンテンドーDSiのフィルタリング設定の流れ
- 1:スタートページの「お気に入り」をひらく」を選択
 - 2:子どもをまもる「iフィルター」を選択
 - 3:フィルタリング会社のサイトにつながり、手順により設定(iフィルターは月額315円)

私たちネットパトロール隊からお伝えしたいこと…

ゲーム機は電話機能のないケータイです!!

1、家に無線LAN(通信)回線がなくても子どもはゲーム機でネットにアクセスしています!

ゲーム機でのネット受信は、商店街の無線LANスポットのあるところ(例:マクドナルド、大型ショッピングセンター)や無線LANを設置している家でセキュリティをかけ忘れている家屋の外でつながります。

2、フィルタリング、ペアレンタルコントロールの設定を!!

調査ではフィルタリング(有料)の設定率は4.6%、ペアレンタルコントロール(無料)は4.2%と極めて低い結果でした。何かあってからでは遅いです。大人が責任を持って設定し子ども達を守って下さい!

3、正しい使い方ゲームをより楽しいものに!!

ネットにつながることで、より様々な機能が使えます。そのため時間を忘れるほどゲームに熱中し、ネット中毒になる子どもも数います。家庭でのルールを確認したうえでゲーム機を与えましょう!!

📞 携帯電話のルールをつくろう！

携帯電話の犯罪は年々巧妙化しており、大人でも判別が難しい場合が出ています。子どもに携帯電話を持たせる場合には、トラブルに巻き込まれないように、家族でルールをきめていくことが大切です。



ルールは家庭の事情によって違ってきます。ここでは、携帯電話のルールを幅広く取り上げます。自分の家に合わせて選んだり、子どもの年齢に合わせてルールの変更をしたりすることで「我が家の携帯電話ルール」を作りましょう！

📞 我が家の携帯電話ルール作成例

番外編 ルール作りの時のルール

番外編 ルール完成後のルール

📞 我が家の携帯電話ルール作成例

自分の電話番号やメールアドレスをむやみに教えない。

自分の電話番号やメールアドレスを教えた相手は誰かを保護者に伝えること。

夜9時以降は携帯電話をさわらない。

勉強中、食事中は電話もメールもしない。

携帯電話の保管、充電場所は居間にする。

携帯電話は自分の部屋に持ち込まない。

携帯電話の正しい使い方は家族で教えあおう。

家にいる時は、家の電話を利用する。

メールを送るのは1日3回までとする。越える場合は理由を保護者に伝える。

必要のないサイトにアクセスしない。

おかしなメール、知らない相手からのメールは必ず保護者に見せる。

有料サイトの利用は保護者に相談して許可をとる。

会員登録等の個人情報登録は、有料無料に関係なく、保護者に許可をとる。

人の悪口は絶対に書かない。

📞 我が家の携帯電話ルール

家庭の状況、子どもの年齢に応じて書き換えて使ってください。

Word形式で作成した「我が家の携帯電話ルール」をダウンロードできますので、これを加筆修正して作ると便利です。

例1 編集用ワードファイル

例2 印刷用PDF 編集用ワードファイル

📞 番外編 ルール作りの時のルール

一方的な押し付けにならないように必ず子どもと話し合いながらルールを決めましょう。

家庭の状況に応じては守れなかった時にどうするかを決めておくとういことです。

例1: 約束を守れなかったら、1週間〇〇当番をします。

例2: 約束を守れなかったら、1週間、携帯電話を没収します。

あれはダメ、これはダメというルールになりがちですが、あなたのことがとても心配なのだ、ということ十分に伝えることが大切です。

ルール作りの時には、実際に身近で起こった犯罪の話をしたりして、ルール作りの必要性を話し合うことも大切です。

ルールの数は子どもの状況に応じて数を減らすとよいでしょう。あまり多いとルールを覚えられないので小学生は5個にするなど工夫して下さい。

ルールを作ったら、プリントアウトしたものを子どもと一緒に声を出して読み上げ、子どもにその日の日付と名前を書きで記入させましょう。守ろうという意識付けができます。

📞 番外編 ルール完成後のルール

プリントアウトして、冷蔵庫など子どもも保護者も目にする場所にびたっと貼っておきましょう。

携帯電話で子どもの交友関係が飛躍的に広がる恐れがあります。

今まで以上に親子の会話を大切にしていくことが重要です。

我が家のルールは友だちにも伝えるように子どもに働きかけましょう。

友だちが相手の家のルールを理解していないと、ルールが守られなくなっていくます。

ルールはしばらくやってみてから見直すための話し合いをすることも大切です。

我が家の携帯電話 & ネット端末のルール

- 1 夜10時以降はゲーム機・携帯電話をさわりません。
- 2 勉強中、食事中はゲーム機・電話もメールもしません。
- 3 ゲーム機・携帯電話の保管、充電場所は居間にします。
- 4 家にいる時は、家の電話を使います。
- 5 メールを送るのは1日3回までにします。
- 6 ホームページはひとりでは見ません。

ルールを破ったら、1週間、ゲーム機・携帯電話を没収されても文句を言いません！
ぼっしゅう

以上のことを守ることを誓います！

年 月 日 名前【 】



保護者 様

平成26年6月30日

魚沼市立井口小学校
校長 上村 勝

夏休み前 放課後ステップアップ教室の開催について

盛夏の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より学校の教育活動にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。さて、「夏休み前ステップアップ教室」を下記の内容で行います。対象者は、1学期の学習内容で特に個別指導による復習が必要と担任が判断した児童です。参加の有無について、ご家庭でご相談の上、参加申込書を7月7日(月)までに担任にご提出ください。

記

1 日程等

番 号	期 日	個別指導時間	スクールバス帰り
①	7月18日(金)	午後14時15分～午後15時15分	午後15時20分 学校発
②	7月22日(火)	午後14時15分～午後15時15分	午後15時20分 学校発
③	7月23日(水)	午後14時15分～午後15時15分	午後15時20分 学校発

※上記3日間は、期末短縮校時になっており、全校が5限14時15分に下校となっています。5限終了後の放課後1時間を使って、個別指導を行います。

2 場 所 食堂等

3 担 当 級外職員等

4 持ち物 担任の指示による

5 その他

- 参加は希望制で、強制ではありませんが、可能な限り参加させてください。
- 下校は、地域ごとにまとめて下校します。
(スクールバスの児童は、スクールバスによる下校となります。)
- 担任の方から、参加の声かけがある場合があります。

----- 切り取り線 -----

「夏休み前ステップアップ教室」参加希望用紙

() 年 () 組 児童名 ()

- ①参加希望日の番号をお書き下さい。 ()
- ②スクールバス利用の有無についてお書きください。 ()
- ③下校先が自宅でない場合は、お知らせください。 ()

※7月7日(月) 締め切り

保護者の皆様

平成26年7月3日

魚沼市立井口小学校
校長 上村 勝

平成26年度すいすい(泳力向上)教室のご案内

盛夏の候、皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
さて、今年度も子どもたちの泳力向上を目指し、集中的に練習するすいすい(泳力向上)教室を下記の通り実施いたします。特に、補習が必要と考えられる児童を対象に実施させていただきます。つきましては、個別に声をかけさせていただきますので、その際は下記の参加希望用紙を7月16日(水)までに担任にご提出ください。
ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 日時

7月30日(水)、7月31日(木) 午前8時30分～午前10時30分 *荒天時は中止。
*中止の場合は、午前7:30分頃、メール配信で連絡します。

2 会場

井口小学校プール

3 参加者

1～6年生で補習が必要と考えられる児童
*夏休み前に、連絡帳等で担任から連絡いたします。

4 担当

全職員

5 練習内容

水慣れ→浮く・もぐる→けのび・バタ足等 *あくまで目安なので、児童の実態によって変更があります。

6 児童の動き

8:30～ 8:45 通常の登校方法で登校 (SB 8:45)
8:45～ 9:00 着替え (その後→食堂フロアにクラスごと集合)
9:00～ 9:05 健康観察 (担任)
9:05～ 9:15 準備運動 (プールサイド)
9:15～ 10:15 練習
10:15～ 10:30 着替え (その後→児童玄関集合)
10:30～ 近くの友達と一緒に下校 (SB 10:40)

スクールバス出発時刻	
大湯発	8:15
学校発	10:40

7 持ち物

水着・水泳帽子・ゴーグル・タオル・学年のプールカード・水筒

8 その他

- 欠席の場合は、午前8時00分までに学校に連絡をしてください。(学校 792-0594)
- 登下校は、徒歩または、保護者による送迎となります。できる限り、近くの子どもと一緒に登下校ください。(スクールバスの児童は、スクールバスによる登下校となります。)

----- 切り取り線 -----

「すいすい教室」参加希望用紙

() 年 () 組 児童名 ()

・すいすい教室に参加します。

※7月17日(水) 締め切り

PTA主催 夏休みプール開放のきまり

井口小学校PTA

お願い

- ①夏休みのプール開放は、PTA主催です。PTA及び保護者の責任のもと活動を行っています。
- ②プール開放にお子さんが来た時点で、お子さんをプールに入れることを保護者が認めた事となります。
- ③このきまりはお子さんの安全を守りながら、楽しく水泳をしてもらうためのものです。守れない場合は、お子さんをプールに入れません。

※保護者のみなさんの責任において、お子さんと一緒に読みながらきまりや約束をよく理解させてプールに行かせてください。

1 プールへの行き帰り

- ・地域ごとに行き帰りの方法がちがいます。
地域子ども会で話があります。(学校で一括しての話はありません。)
行き帰りの方法と赤旗の場所をよく確認しておきましょう。
- ・プール開放の途中で一人では帰れません。
具合が悪くなって先に帰る場合の手順を確認しておいてください。
①具合が悪いなどの理由で先に帰る時は、必ず監視員に理由を告げて許可を得る。
②監視員から家の人に連絡を取り、迎えに来てもらってから帰る。
- ・また、途中で具合が悪くなってプールから上がって待つときは、テントの中で静かに待ちます。

2 プールに入るまでの順序

児童玄関から入る。

- 渡り廊下で、地域ごとに自分のプールカードを出す。これが人数確認の基本となります。
- 水着に着がえる 《着がえる場所：北校舎1階》
男子は図工室、女子は会議室

プールサイドに移動する。

- テントの中に水筒を置く。
- タオルをフェンスにかけて、地域別に並ぶ。

- 監視員からの連絡や諸注意を聞く。
 - ラジオ体操をする。
- 準備運動がきちんとできない子どもはプールに入れません。

ラジオ体操後の動き
シャワー → 地域別に整列 → バディを組む → 入水・休憩・バディ(適時水分補給) → 最後 バディ

☆プールカードって何? ☆

- ①緊急連絡カードとして使用するもの
- ②入水前、入水後の人数確認を行うもの

プールカードは夏休み前に配布します。



プールに入る時のきまり

1. 監視員の言うことを守る。
2. 鐘が鳴ったらすぐにプールから出る。
3. おぼれたまねや悪ふさはしない。
4. とびこみや潜水は、絶対にしない。
5. プールサイドは走らない。
6. 無理のない場所で泳ぐ。(深いところに気をつける。)
7. みんなで使うものは、順番に使い、きちんと片付ける。(ピート板など)



3 プール開放の日 (計10日：太字の日が開放日です。)

月	火	水	木	金
7 / 21	22	23	24 終業式	25 開放
28 開放	29 開放	30 すいすい教室	31 すいすい教室	8 / 1 開放
4 開放	5 開放	6 開放	7 開放	8 開放
11 開放	12	13 学校閉庁日	14 学校閉庁日	15 学校閉庁日

(集合 9 : 45)
午前の部 **10:00** ~ 11 : 30
(集合 1 : 15)
午後の部 **1:30** ~ 3 : 00

地域によって泳げる時間がちがいます。どの時間帯が自分のお子さんの開放時間なのかは、別紙の日程表をご覧ください。

☆中止の連絡について

監視長が開始1時間半前に判断し、地域担当に電話連絡をします。なお、学校からもメール配信にて連絡します。
地域によって赤旗の設置があります。別紙をご覧ください。
(午前は8時半に、午後は12時に判断する。)

4 持ち物

水着 水泳帽子 (ゴーグル) まきまきタオル 水筒 プールカード
※うきわ等の持ち込みは禁止です。

5 その他

- ・食べ物・お金など水泳では使わない物を持ってくるはいけません。
- ・勝手に学校の中を歩き回ってはいけません。(教室や特別教室などに入らない。)